

平成30年度秋田市障がい者総合支援協議会児童部会の総括について

部 会：秋田市障がい者総合支援協議会児童部会
部会長：秋田市障がい者総合支援協議会児童部会会長
委 員：秋田市障がい者総合支援協議会児童部会委員

1 平成30年度の協議の方向性と課題について

平成30年度の児童部会における目指すべき方向性は、次のとおりであった。

障がい児に係る育成環境の整備を図るため、秋田市内での障がい児の療育・相談機関や親の会等により、以下に掲げる課題に取り組むもの

- (1) 18歳未満の障がい児の生活課題に特化した課題整理と検討
- (2) 社会資源の検証と開発
- (3) 困難事例の協議

2 協議内容

1に掲げる目指すべき方向性を踏まえ、次の課題について協議を行うこととした。

- (1) 気になる（支援が必要と思われる）児童・生徒に関するアンケートについて
 - ア 市内の小・中学校の学級担任を対象としたアンケートの実施
 - イ アンケートの集計結果から見える現状と支援方法
- (2) 医療ケアの必要な障がい児の支援体制について
- (3) 社会資源の掘り起こしについて
 - 保護者等が必要としている社会資源についての情報収集と情報提供
- (4) 課題解決の検証および課題の再整理
- (5) 事業所一覧の更新
- (6) 困難事例に対する検討について
 - 具体的な困難内容の実態把握と、相談窓口の提案
- (7) その他、部会で検討が必要と判断した事項

3 協議の方法について

支援内容ごとにより具体的な協議を進めるため、協議の方法については、次に掲げる方法のとおり行うこととした。

(1) 運営会議の開催

「協議会」で協議のあった課題等について情報共有を図り、「部会」でのスムーズな運営を行うための準備やその方法等について確認または協議をするため「運営会議」を必要に応じて開催する。

(2) 部会の開催

協議会からの課題検討の依頼のあった内容や各部会の判断により独自に協議が必要と判断した事項について協議を行うため、必要に応じて開催する。

4 協議の経緯について (○：運営会議 □：部会 △：合同部会)

△H30.6.28(火) 第1回 合同部会および個別部会 中央市民サービスセンター洋室4
PM1:30~4:00

- ・出席者：(相談支援部会) 斎藤委員、成田委員、猪岡委員、菊地委員、越後谷委員
島山委員、岩本委員、船起委員、秋本委員
(就労部会) 牧野委員、工藤委員、橋委員、武田委員、石山委員、栗田委員
(児童部会) 鈴木委員、佐藤委員、森田委員

・主な協議内容等

【合同部会全体会議】

- (1) 秋田市障がい者総合支援協議会の概要について
- (2) 秋田市障がい者総合支援協議会各部会の運営方法について

【各部会個別会議】

- (1) 部会長および事務担当者の互選について
- (2) 追加する委員について
- (3) 目指すべき方向性と30年度の課題について

□H30.7.19(木) 第2回 部会 中央市民サービスセンター洋室5 AM10:00~11:30

- ・出席者：鈴木佳奈子委員、佐藤達志委員、森田真純委員、鈴木崇宏委員、舛屋晶子委員、
設置運営要綱18条に基づく関係者事務局（障がい福祉課2名 鎌田、高橋）

・主な協議内容等

- (1) 児童部会の運営方針について
- (2) 平成30年度の課題について

※部会長および事務担当の選任について、全員の出席がなかったことから、次回持ち越し。

□H30.8.28(火) 第3回 部会 中央市民サービスセンター洋室5 AM10:00~11:30

- ・出席者：鈴木佳奈子委員、佐藤達志委員、森田真純委員、舛屋晶子委員、大友明希子委員、
嶋田裕子委員
設置運営要綱18条に基づく関係者事務局（障がい福祉課2名 鎌田、高橋）

- ・主な協議内容等

- ※部会長および事務担当の選任について

- (1) 平成30年度事業所一覧の様式等について
- (2) アンケート調査について
- (3) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

□H30.9.20(木) 第4回 部会 中央市民サービスセンター音楽室2 AM10:00～11:30

- ・出席者：鈴木佳奈子委員、佐藤達志委員、森田真純委員、鈴木崇宏委員、大友明希子委員、
嶋田裕子委員、石田雅士（関係者）
設置運営要綱18条に基づく関係者事務局（障がい福祉課2名 鎌田、高橋）

- ・主な協議内容等

- (1) 平成30年度事業所一覧の様式等について
- (2) アンケート調査について
- (3) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

□H30.10.25(木) 第5回 部会 中央市民サービスセンター洋室5 AM10:00～12:00

- ・出席者：鈴木佳奈子委員、佐藤達志委員、森田真純委員、嶋田裕子委員、大友明希子委員、
設置運営要綱18条に基づく関係者事務局（障がい福祉課2名 鎌田、高橋）

- ・主な協議内容等

- (1) 平成30年度事業所一覧の集計状況等について
- (2) アンケート調査の実施について
- (3) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

□H30.11.15(木) 第6回 部会 中央市民サービスセンター洋室5 AM10:00～12:00

- ・出席者：鈴木佳奈子委員、佐藤達志委員、森田真純委員、嶋田裕子委員、大友明希子委員、
鈴木崇宏委員、八代美千子（関係者）、安藤佳寿美（関係者）、
設置運営要綱18条に基づく関係者事務局（障がい福祉課4名 佐々木、柴田、鎌田、
高橋）

- ・主な協議内容等

- (1) 平成30年度事業所一覧の集計状況等について
- (2) アンケート調査の回答について
- (3) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

□H30.12.20(木) 第7回 部会 中央市民サービスセンター音楽室2 AM10:00～11:30

- ・出席者：佐藤達志委員、森田真純委員、嶋田裕子委員、大友明希子委員、舛屋晶子委員
安藤佳寿美（関係者）、川崎信一（関係者）
設置運営要綱18条に基づく関係者事務局（障がい福祉課2名 鎌田、高橋）

- ・主な協議内容等

- (1) 平成30年度事業所一覧の集計状況等について
- (2) アンケート調査の集計結果等について
- (3) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

□H30.1.17(木) 第8回部会 中央市民サービスセンター音楽室2 AM10:00～11:30

- ・出席者：佐藤達志委員、森田真純委員、大友明希子委員、鈴木佳奈子委員、
安藤佳寿美（関係者）

- ・主な協議内容等

- (1) 平成30年度事業所一覧のホームページ掲載について
- (2) アンケート調査の集計結果等について
- (3) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

□H30.2.28(木) 第9回部会 中央市民サービスセンター音楽室3 AM10:00～11:30

- ・出席者：佐藤達志委員、鈴木佳奈子委員、
児玉亜由美（関係者）

- ・主な協議内容等

- (1) 今年度の協議のまとめ、今後の検討課題について
- (2) 医療的ケア児に関する定例会開催に向けて

5 協議結果：協議の成果と今後の検討課題について

- (1) 気になる（支援が必要と思われる）児童・生徒に関するアンケートについて

- ① 協議の成果

教育委員会学校教育課と連携し、秋田市内の小中学校における学級担任を対象としてアンケートを実施し、小学校146人、中学校85人の先生から気になる児童・生徒に関する回答があった。

回答では児童部会で設定した質問である「対応の仕方」や「保護者との連携」「体制等に関すること」等の各回答に対して設定した項目の選択以外にも多数の意見が寄せられたほか、自由記載欄にも児童との関わり方や、保護者・職員双方に発達障害等への理解不足があるなど、非常に多数の意見があった。

- ② 今後の検討課題

アンケートの回答から、児童・生徒への対応や保護者の理解・協力等について、普段先生が抱える多くの悩み・問題が見いだされたことから、これらの事例について、児童部会で課題の把握と整理を行い、有効となりえる支援方法を学校等に提案するなど、アンケート結果の有効な活用を検討していきたい。

(2) 医療ケアの必要な障がい児について

① 協議の成果

ア 障害福祉サービス等の利用実態等の把握および課題整理

イ 情報収集および支援手法についての検討

今年度は第1期秋田市障がい児福祉計画にも掲げているとおり、医療的ケア児に関する協議の場の設定について検討した。

協議の場については、児童部会と連携して開催することとして、児童部会員を中心に、サービス事業所や医療機関、教育関係者等、制限を設けず関係者に広く呼びかけ、協議や参加者相互の意見交換や情報共有、勉強会等を行うこととした。

② 今後の検討課題

アについて

イについて

次年度の児童部会と連動し、医療的ケア児支援に関わる関係団体等に参加の呼びかけを行い、定期的に協議等を実施していく。

(3) 社会資源の掘り起こしについて

① 協議の成果

今年度は、小中学校の学級担任を対象として(1)のとおり気になる児童・生徒に関するアンケートを実施し、とりまとめまで行ったが課題の把握や整理まで至ることができなかった。

② 今後の検討課題

(1)で実施した、気になる児童・生徒に関するアンケートから洗い出された課題の把握や整理を行い、昨年度実施した幼稚園等に対する困りごとアンケートと併せて保育・教育における課題等の事案について協議を行い、有効な提案等を取りまとめていきたい。

(4) 困難事例への対応と課題解決に向けた検討について

① 協議の成果

今年度は委員からは困難事例の提案がなかったため、協議は行わなかった。

② 今後の検討課題

昨年度と今年度に保育園や学校それぞれに行ったアンケートで洗い出された課題の整理と併せて随時、委員等から困難事例の提案があった場合には解決に向けて協議を行っていく。また、医療的ケア児への支援については関係団体等とも意見を交換できるように、協議の場を設けて検討していく。

(5) 事業所一覧の作成

【障害福祉サービス等提供事業所にかかる事業内容等一覧表の作成】

① 協議の成果

市障がい福祉課のホームページに掲載している放課後等デイサービス、短期入所、日中一時支援を行っている市内各事業所について、新規指定事業所を反映する等の一覧表の加除を行い、また、掲載項目を修正し、利便性の向上を図った。

② 今後の検討課題

今後も部会員や関係機関、市障がい福祉課担当と連携し、情報収集に努め、引き続き速やかに情報提供していきたい。

6 今後の部会での協議等について

(1) 幼稚園、保育園、小中学校に実施した困りごとアンケートの分析・評価について
アンケート集計結果から見える支援方法の提案（継続）

(2) 医療的ケアの必要な障がい児の支援体制について（継続）

児童部会と連携し、関係団体等に広く呼びかけ、定期的に協議の場を開催し、相互の情報交換やスキルアップを図る。

(3) 社会資源の掘り起こしについて（継続）

アンケート結果により洗い出された課題等も踏まえ、社会資源についての情報収集と情報提供を行う

(4) 課題解決の検証および課題の再整理（継続）

医療的ケア児の支援についての協議の場と連携しながら課題解決等を行う

(5) 事業所一覧の更新（継続）

(6) 困難事例に対する検討について（継続）

具体的な困難内容の実態把握と、相談窓口の提案